



ワールドカップ第3戦、スクラッチで銅メダルを獲得した西谷(右端)

シクリスムエコーNo.126 2006年2月号



2006 シクロクロス世界選手権 2
2005/2006 UCIシクロクロス・ワールドカップ 3



2005 年度 JCF 短距離強化合宿 3
UCIトラック・ワールドカップ第4戦 日本代表選手団 3



2005-2006 UCIトラックワールドカップ第3戦 4



ツール・ド・ランカウィ 2006 5

ツアー・オブ・シャム 2006 6
2006年JCFジュニア強化育成事業計画 8
2006年JCFジュニア強化指定選手 8



ジュニア・オーストラリア合宿 8
2006 年度 JCF レースカレンダー (案) 9



第10回ツアー・オヴ・サウスチャイナシー 10
競技大会結果 <平成17年度地域大会> 11
競技大会結果 <その他> 15
インフォメーションコーナー 16
日本学生自転車競技連盟から審判講習会開催のお知らせ 16
訃報 16
ツール・ド・台湾 日本代表選手団 16
連盟の動き 16



2006 シクロクロス世界選手権



男子エリートの辻浦

今回のコースは、オランダ南東部のゼッダムという小さな町の郊外にある、1周約3.1kmのコース。牧草地の平坦部に、凍った急斜面の下りと、長い階段とそれに続くアスファルトの上り坂が特徴的であった。

日本代表チームは、一部選手が1週間前に同じオランダで開催されたワールドカップ最終戦に参戦しており、本場でのレースを体験し、それなりの結果を残して世界選に挑むことができた。



U23の山本

(ジュニア竹之内は先頭と54秒差の19位と調子を上げていた。)

1月28日、快晴ながら朝の気温はマイナスと非常に寒い中、午前11時30分にジュニアのレースがスタートした。スタート直後の争いで竹之内の後輪に後続選手が突っ込みクイックレバーが外れるアクシデントがあり、竹之内は集団に遅れてスタートとなった。竹之内は諦めることなく前へ前へと走り、33位まで順位を上げゴール。伊澤は自分の走りを維持して54位、藤岡もトラブルがあったが60位で完走した。

U23には昨年に続き山本が出場。コーナー立ち上がりや直線でのパワーの差から前に出られず、43位でゴールした。

翌1月29日、女子レースにはオランダで活動を続ける荻島と、全日本チャンピオンでロードでも定評のある豊岡、それに田近の3名が出走。女子はUCIランキング順にスタートラインに並ぶため、3名とも後列からの不利なスタートとなった。豊岡は序盤は30位台前半の位置で走り、荻島、田近は最後尾を単独走行となってしまふものの、3名とも完走を果たした。

午後2時30分、最後のレースであるエリート男子がスタート。世界を代表する強豪選手をずらりと揃えるベルギーをはじめ、地元オランダ、イタリア、チェコの強豪選手に混じり辻浦、小坂は集団の後方の位置でスタートを切った。序盤調子が上がらない辻浦を、ホームストレートではベテランの小坂が引

く形で、2名は40位台を走る。トップとの差は2周目で1分20秒、3周目も1分30秒と中盤までは、タイム差を大きく開けられること無く踏ん張った。その後1周毎に約30秒の差が開き、9周目ゴールで辻浦が4分52秒差の44位、小坂が5分4秒差の46位で完走を果たした。

本場ヨーロッパの自転車競技はコース、



女子の豊岡

気候、周囲の選手のレベルと、どれをとってみても日本国内では経験できないレベルにあり、世界で戦うにはより高いレベルでのトレーニングが必要なのはもちろんであるが、世界選手権までにヨーロッパで何レースか経験を積む機会と、それをサポートする体制の整備の必要性を感じました。最後に、我々選手団を応援頂きました各位にお礼申し上げます。(矢野 淳)

[競技結果]

2006 シクロクロス世界選手権
(2006/1/28-29 オランダ・Zeddam)

MEN ELITE

1	VERVECKEN Erwin	BEL	1:05:40
2	WELLENS Bart	BEL	+0:02
3	MOUREY Francis	FRA	+0:02
44	辻浦 圭一	JPN	+4:52
46	小坂 正則	JPN	+5:04

WOMEN ELITE

1	VOS Marianne	NED	39:14
2	KUPFERNAGEL Hanka	GER	+0:00
3	VAN DEN BRAND Daphny	NED	+0:52
38	豊岡 英子	JPN	+5:35
41	荻島 美香	JPN	+7:25
42	田近 郁美	JPN	+7:56

MEN U23

1	STYBAR Zdenk	CZE	51:01
2	BOOM Lars	NED	+0:00
3	ALBERT Niels	BEL	+0:02
43	山本 幸平	JPN	+5:56

MEN JUNIORS

1	VAM POPPEL Boy	NED	38:03
2	GAVENDA Robert	SVK	+0:03
3	MEEUSEN Tom	BEL	+0:09
33	竹之内 悠	JPN	+2:28
54	伊澤 優大	JPN	+3:53
60	藤岡 徹也	JPN	+5:39

2005/2006 UCIシクロクロス・ワールドカップ

先にオランダ入りしている辻浦、竹之内やオランダ在住の荻島にとっては、世界選前のコンディションを確認できることであろう。また、直前に現地入りした小坂、田近、山本にとっては少々強行日程となったが、こちらは一週間後の世界戦選手権に的を絞っている。

ジュニアの竹之内はスタート後30番台中程で、周回を重ねるごとに精彩が出る走りで順位を上げることができた。トップと54秒差の19位。良いスピードで走れるだけにスタートの出遅れが残念であったが、一週間後の世界選には良いレースが期待できる。

U23の山本はスタート後に8番手で最初のピット前を通過し、大変に良い位置につけていた。しかし半周ほどしたところでコーナーのイン側のフェンスに引っかかり大落車してしまい、集団後方まで順位を落としてしまった。その影響で直後には完全にスローダウ

ンしてしまったが、徐々に本来のスピードを取り戻すことができ、後半は前の選手を次々に捕らえて最終的に5分5秒差の41位でレースを終えることができた。

女子の田近は良いスタートで集団中程に位置したが、舗装路区間であまり踏むことが出来ずに順位を下げてしまったのが惜まれる。一方の荻島は前のレースで怪我をしてしまい、様子を見ながらの走りとなった。調子は上向きなので週末の走りを期待したい。

エリートの辻浦はスタートから中盤に位置し、積極的な走りであった。集中した中にも何か余裕を感じさせる走りであり、現地でのレース経験が生かされているようだ。トップから僅か4分21秒差でのゴールであった。小坂は序盤から少し遅れてしまったが、良いコンディションにあるので世界選手権での走りには期待が持てた。(澤田 雄一)

[競技結果]

2005/2006 UCIシクロクロス・ワールドカップ
(2006/1/22 砂ンダ・Hoogerheide)

MEN ELITE

1	VERVECKEN Erwin	BEL	1:01:40
2	GADRET John	FRA	+0:03
3	FRANZOI Enrico	ITA	+0:05
42	辻浦 圭一	JPN	+4:21
48	小坂 正則	JPN	+1rap

WOMEN ELILTE

1	VAN DEN BRAND Daphny	NED	38:39
2	KUPFERNAGEL Hanka	GER	+0:00
3	MELCHERS-VAN POPPEL Mirjar	NED	+0:29
41	田近 郁美	JPN	+7:31
42	荻島 美香	JPN	+7:36

MEN U23

1	BOOM Lars	NED	55:35
2	LANGEVELD Sebastian	NED	+0:26
3	FONTANA Marco Aurelio	ITA	+0:27
41	山本 幸平	JPN	+5:05

MEN JUNIOR

1	MARTINEZ Yannick	FRA	43:29
2	VAN POPPEL Boy	NED	+0:00
3	GOVAER Dries	BEL	+0:00
19	竹之内 悠	JPN	+0:54



2005 年度 JCF 短距離強化合宿



2月8日から14日、グリーンドーム前橋とJISSに於いて短距離選手の強化合宿が行われた。今回の目的は、シドニーワールドカップ対策としてスタートダッシュ、トップスピードの強化を第一目標としたトレーニングプランを組んで実施した。

JISSサポートでは、動作解析を基に

スタート時の体重移動の修正、ギヤ比とトップスピードの関係についてテストも実施した。

ウエイトトレーニングはスクワットで体重の200%挙上を本年の目標としてトレーニングを行った。

13日には選手のモチベーションアップを目的に、JOCセカンドキャリア



プロジェクトの八田茂氏によるキャリアトランジションセミナーを実施し、選手には大いに刺激になったようだ。

(班目 秀雄)

[参加選手]

濱田 浩司・及川 裕奨・稲垣 裕之・
成田 和也・渡邊 一成・新田 祐大・
北津留 翼・脇本 雄太

2005-2006 UCIトラック・ワールドカップ第4戦 日本代表選手団

大会名	2005-2006 UCIトラック・ワールドカップ第4戦	開催場所	オーストラリア・シドニー
大会期間	2006年3月3日～5日	派遣期間	2006年2月27日～3月6日
派遣選手団	監督 班目 秀雄 (JCF強化ヘッドコーチ)	コーチ	福田 公生 (JCF強化コーチ)
	効ニク 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)	マッサー	柳 浩史 (JCF強化スタッフ)
選手	金子 貴志 (JPCA・愛知)・稲垣 裕之 (JPCA・京都)・井上 昌己 (JPCA・長崎)・ 渡邊 一成 (JPCA・福島)・永井 清史 (JPCA・岐阜)・盛 一大 (愛知・愛三工業レーシング)		

2005-2006 UCIトラックワールドカップ第3戦



チームスタッフとして参加させてもらった初めてのワールドカップ大会。見るもの聞くもの全てが新鮮だった。

参加した選手たちは、西谷以外が何回目かの参戦である。競技の結果は、個人追抜競走、ポイントレース、スクラッチと三種目に出場した西谷がスクラッチで銅メダルを獲得した。スプリントの成田、濱田、1kmタイムトライアルの藤田、ケイリンの及川達は、世界の壁に阻まれて今一步の成績だった。濱田、成田、及川で望んだチームスプリントは、チャンスがあると期待したが、こちらでも残念な結果に終わった。

大会を通して感じた事だが、世界各国の選手に比べて日本の選手は、250mトラックの走りに慣れていない。その結果個々の力は有るのだが、その力を十分に発揮できていないように思え

る。これからの課題の一つであろう。

競技以外では、参加スタッフの選び方、機材の搬送方法、現地のコーディネーター等に関して工夫が必要であると感じた。大会全般については迫力ある競技、カラフルな会場、スピーディーな運営、どれも素晴らしいものだった。参加した選手たちも一生懸命で、一人一人がとても輝いて見えた。こんなに素晴らしい大会に今後も参加し続けるのだから、競輪界はじめ関係各位が自転車競技に対し一層の関心をもってバックアップ体制をとり、環境作りをすることが急務であると思う。

最後に、このような素晴らしい経験をさせて頂いたことに対し、心より御礼申し上げます。
(清水賢二)



[競技結果]

2005-2006 UCIトラック・ワールド・カップ 第3戦
(2006/1/20-22 アメリカ・ロサンゼルス)

1kmタイムトライアル

1	KERSTEN Ben	AUS	1:02.760
2	VELDT Tim	NED	1:03.768
3	PERVIS Francois	FRA	1:03.932
7	藤田 竜矢	JPN	1:06.031

スプリント

1	BAUGE Gregory	FRA	
2	BOURGAIN Mickael	FRA	
3	BLATCHFORD Michael	USA	
15	成田 和也	JPN	1回戦敗退
20	濱田 浩司	JPN	予選敗退

ケイリン

1	KELLY Shane John	AUS	
2	MULDER Teun	NED	
3	STAFF Jamie	GER	
	及川 裕奨	JPN	1回戦敗退

4km個人追抜競走

1	ESCOBAR ROURE Sergio	ESP	4:31.269
2	MOURIS Jens	NED	4:34.926
3	ALLEN Jason	NZL	4:33.731
17	西谷 泰治	JPN	4:48.674

スクラッチ (15km)

1	PEREZ Walter	ARG	
2	KOVALEV Ivan	ODT	
3	西谷 泰治	JPN	

ポイントレース (30km)

1	IGNATIEV Mikhail	RUS	34p
2	TAMOURIDIS Ioannis	GRE	30p
3	LLANERAS ROSSELLO Joan	ESP	28p
	西谷 泰治	JPN	予選敗退

チームスプリント

1	FRANCE	45:299
2	POLAND	46:377
3	AUSTRALIA	45:867
7	日本 濱田・成田・及川	46:598

末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

ツール・ド・ランカウイ 2006



[競技結果]

ツール・ド・ランカウイ 2006

(2006/2/3-12 マレーシア・ランカウイ)

第1ステージ (81.0km)

1	Richeze, Maximiliano	PAN	1:43:53
2	Pütsep, Erki	A2R	1:43:53
3	宮澤 崇史	JPN	1:43:53
102	別府 匠	JPN	1:51:19
114	福島 晋一	JPN	1:51:19
115	盛 一大	JPN	1:51:19
116	福島 康司	JPN	1:51:19
117	西谷 泰治	JPN	1:51:19

第2ステージ (164.7km)

1	Bongiorno, Ruben	PAN	3:59:24
2	Richeze, Maximiliano	PAN	3:59:24
3	Radochla, Steffen	WIE	3:59:24
9	宮澤 崇史	JPN	3:59:24
68	福島 晋一	JPN	3:59:24
92	盛 一大	JPN	3:59:24
101	別府 匠	JPN	3:59:24
104	西谷 泰治	JPN	3:59:24
111	福島 康司	JPN	4:01:43

第3ステージ (150.6km)

1	Raisin, Saul	C.A	4:03:55
2	George, David	RSA	4:03:55
3	Lill, Darren	RSA	4:04:12
17	福島 晋一	JPN	4:07:19
26	宮澤 崇史	JPN	4:11:00
46	別府 匠	JPN	4:24:28
91	福島 康司	JPN	4:28:14
93	盛 一大	JPN	4:29:02
104	西谷 泰治	JPN	4:31:46

第4ステージ (142.4km)

1	Serpa, Jose	CLM	3:17:46
2	Oliphant, Evan	RCY	3:18:01
3	Riblon, Christophe	A2R	3:18:03
6	盛 一大	JPN	3:18:52
21	宮澤 崇史	JPN	3:20:46
76	福島 晋一	JPN	3:20:46
77	福島 康司	JPN	3:20:46
86	別府 匠	JPN	3:20:46
87	西谷 泰治	JPN	3:20:46

第5ステージ (99.7km)

1	Serpa, Jose	CLM	3:01:00
2	Elias Galindo, Jose	REG	3:02:28
3	Iannetti, Massimo	LPR	3:02:33
41	福島 晋一	JPN	3:10:15
43	宮澤 崇史	JPN	3:11:50
59	福島 康司	JPN	3:14:46

92	西谷 泰治	JPN	3:20:34
108	別府 匠	JPN	3:27:09
109	盛 一大	JPN	3:27:09

第6ステージ (178.7km)

1	Mangel, Laurent	A2R	4:16:53
2	Bates, Gene	LPR	4:16:53
3	Le Boulanger, Yohann	BTL	4:16:53
5	福島 晋一	JPN	4:16:53
17	宮澤 崇史	JPN	4:17:04
52	福島 康司	JPN	4:17:09
86	別府 匠	JPN	4:17:32
88	西谷 泰治	JPN	4:17:56
101	盛 一大	JPN	4:31:49

第7ステージ (188.2km)

1	Aggiano, Elio	LPR	4:21:36
2	Downing, Russell	GBR	4:21:39
3	Van Ulden, Bernard	NIC	4:21:39
18	宮澤 崇史	JPN	4:21:43
51	福島 晋一	JPN	4:21:43
53	福島 康司	JPN	4:21:43
100	盛 一大	JPN	4:23:13
102	別府 匠	JPN	4:24:48
105	西谷 泰治	JPN	4:25:08

第8ステージ (72.7km)

1	Hinault, Sebastien	C.A	1:33:33
2	Cavendish, Mark	GBR	1:33:33
3	Marzoli, Samuele	LPR	1:33:33
38	福島 晋一	JPN	1:33:33
63	別府 匠	JPN	1:33:33
87	福島 康司	JPN	1:33:33
96	宮澤 崇史	JPN	1:33:33
99	西谷 泰治	JPN	1:34:52
100	盛 一大	JPN	1:34:57

第9ステージ (16.2km)

1	Matveyev, Sergiy	PAN	19:39.96
2	McCann, David	GNT	20:12.73
3	Clement, Stef	BTL	20:16.90
24	福島 晋一	JPN	21:14.21
28	西谷 泰治	JPN	21:23.55
33	福島 康司	JPN	21:34.57
37	盛 一大	JPN	21:42.95
80	宮澤 崇史	JPN	22:49.29
88	別府 匠	JPN	22:58.13

第10ステージ

荒天のためキャンセル

個人総合成績

1	George, David	RSA	26:43:55
2	Bellotti, Francesco	C.A	26:45:47
3	Missaglia, Gabriele	CLM	26:45:51
23	宮澤 崇史	JPN	27:01:58
24	福島 晋一	JPN	27:02:26
69	福島 康司	JPN	27:30:37
87	別府 匠	JPN	27:41:55
90	西谷 泰治	JPN	27:43:05
100	盛 一大	JPN	27:57:20

団体総合成績

1	Selle Italia Diquigiovanni	80:21:01
2	Credit Agricole	+2:46
3	South Africa	+12:32
11	日本チーム	+1:04:49

アジア代表成績

1	Askari, H	GNT	26:59:47
2	宮澤 崇史	JPN	+2:11
3	福島 晋一	JPN	+2:39

アジアチーム成績

1	日本チーム	81:25:50
2	Giant-Asia	+4:57
3	Malaysia	+17:55

ポイント賞

1	Radochla, S	WIE	77 p
山岳賞			
1	George, D	RSA	37p



ツール・ド・ランカウイ 2006(UCI 2-HC)日本代表選手団

大会名	ツール・ド・ランカウイ 2006 (UCI 2-HC)
大会日程	2006年2月 3日 ~ 2月12日
派遣日程	2006年1月31日 ~ 2月14日
開催場所	マレーシア・ランカウイ
派遣選手団	
監督	横井 彰人 (JCFロード競技部会支援スタッフ)
メカニック	西 勉 (JCFロード競技部会支援スタッフ)
マッサー	穴田 悠吾・森川健一郎 (JCFロード競技部会支援スタッフ)
通訳	渡会 奈々 (愛三工業レーシング)
選手	宮澤 崇史 (長野・CYCLE RACING TEAM VANG)
	西谷 泰治 (愛知・愛三工業レーシング)
	福島 康司 (JPCA・CYCLE RACING TEAM VANG)
	別府 匠 (JPCA・愛三工業レーシング)
	盛 一大 (愛知・愛三工業レーシング)
	福島 晋一 (JPCA・CYCLE RACING TEAM VANG)

ツアー・オブ・シャム 2006

1月15日<第1ステージ>

バンコク郊外の特設サーキットコースは、30度を越える猛暑。日本チームは昨年覇者の福島晋一をキャプテンに、レースをスタート。

福島康司は積極的にレースを展開し15名の逃げグループに乗る。康司は後半には単独でリードし、追う後続グループには晋一も備える。終盤は晋一が単独で康司に追いつきそのまま1、2ゴール。優勝は兄の晋一で、昨年秋の鎖骨骨折からの復活を見せた。



第1ステージ優勝、福島晋一

1月16日<第2ステージ>

レースコースはバンコクを離れ南へ向かう。今日はフラットながら風のある海沿いを走る117kmのステージ。福島晋一がリーダージャージを着てスタートしたが、日本チームはより好調の福島康司がリーダーを狙いに行った。序盤から激しいアタック合戦になったが、福島兄弟と宮澤を中心に展開しレースが進む。後半には福島康司が20名のグループで先行し、ラスト10kmではデンマークのニールセンが単独アタックしてステージ優勝。ラスト5kmで福島康司が追走に出て後続を数10秒引き離し3位でゴール。その結果、個人総合で単独首位となった。

1月17日<第3ステージ>

この日は今大会最長の220kmのステージ。チームは福島康司のリーダージャージを守る走りをする事になった。序盤から6名が先行する中、集団は日本チームがコントロールに入り3~4分差でレースが進む。最後は総合成績安全圏内で逃げ切らせるつもりでコン

トロールしたが、ゴール前にはペースが上がり集団スプリントでのゴールとなった。チームの働きで福島康司は無事リーダーをキープした。

1月18日<第4ステージ>

レースは序盤から激しいアタック合戦が続く、16名の先頭グループができる。チームからは福島晋一が入り、逃げ切っても良い展開となる。しかしグループのまとまりが無く、集団はひとつに戻る。次に出来た逃げには宮澤が乗り先行体制。追撃で追いついた数名を含め6名が先頭グループ。宮澤は2つの山岳ポイントをトップで通過し、さらにゴールも先頭で飛びこみ初優勝を飾った。

1分遅れで追う集団では総合リーダーの福島康司がラスト5kmでバンク。峠の下りという事もあり対応に遅れ集団から1分遅れでゴールしリーダージャージを失った。幸運と不運が同時に訪れたが、宮澤優勝の影響力のほうがはるかに大きく、チームは盛り上がっている。



第4ステージ優勝、宮澤

1月19日<第5ステージ>

昨日の不運なバンクでリーダージャージを失い、今日からは追う立場になった。動きやすい宮澤と福島晋一がスタートからアタックに出て15人の先頭グループを形成し長旅に出る。メイン集団はリーダーチームのオーストラリア勢を始め、逃げに乗らなかったチームらがコントロールするが、先頭グループの勢いがよく苦戦の様子。結局10名に絞られた先頭グループは捕まることなくゴールを迎える。そして福

島晋一がラスト1kmでアタックしゴール目前まで来るが、20m手前で抜かれ4位に、追い上げた宮澤も一歩届かず2位でゴール。

1月20日<第6ステージ>

今日は総合上位に大きな動きがあった。上位3名の牽制の中、アタック合戦の末30名の先頭グループが出来る。チームからは福島晋一が入り、途中追撃を図る福島康司、石田、宮澤らを待つが、先頭もハイペースで進んだため断念。福島晋一は先頭集団から更に抜け出すタイミングを見る。ラスト30km、満を持して福島晋一と香港のWUがアタック。快調に飛ばし1分弱のタイム差でラスト5kmを通過。しかしゴール前700mの先導ミスでコースアウト。正コースに戻るが後続も到着。タイミングよく戻ったWUはスプリントをとりステージに上がった。福島晋一は集団でゴールしたが、順位とタイム差の扱いについての判定はいかに？

1月21日<第7ステージ>

昨日までの総合成績では福島晋一が6位。最終ステージとなった今日のサーキットは後半激しい起伏が連続する。福島晋一にとっては総合成績を上げるチャンスであるため、後半まで力を温存した。終盤には集団がばらけ福島は先頭をキープして3位でゴール。総合リーダーは必死で先頭をキープしたが、昨日までの総合成績2位以下の選手が遅れたため、福島晋一が総合2位まで浮上した。(浅田 顕)

ツアー・オブ・シャム(UCI 2-2) 日本代表選手団

大会名 ツアー・オブ・シャム2006
大会日程 2006年1月15日~21日
開催場所 タイ

派遣選手団

監督 浅田 顕
メカニック 現地スタッフ
マッサー 現地スタッフ
選手 福島 晋一
(JPCA・TEAM VANG)
福島 康司
(JPCA・TEAM VANG)
宮澤 崇史
(長野・TEAM VANG)
石田 哲也
(愛知・TEAM NIPPO)
佐野 友哉
(大阪・TEAM MATRIX)

[競技結果]

アジア・オセアニア2006 (UCI2-2)
(2006/1/15-21日)

第1ステージ (85.2km)

1	福島 晋一	JPN National	1:56:34
2	福島 康司	JPN National	+2
3	BERLING Michael	DEN Glud	+4
10	野寺 秀徳	JPN Shimano	+21
14	橋本 健	JPN Zurich	"
22	宮澤 崇史	JPN National	+2:50
37	品川 真寛	JPN Shimano	+3:42
55	山本 雅道	JPN Shimano	"
75	狩野 智也	JPN Shimano	"
76	土井 雪広	JPN Shimano	"
103	佐野 友哉	JPN National	"
125	石田 哲也	JPN National	+5:10

第2ステージ (117.2km)

1	NIELSEN Jacob	DEN Glud	2:52:15
2	ULZII-ORSHIKH Jamsran	MGL Marco Polo	+10
3	福島 康司	JPN National	"
12	野寺 秀徳	JPN Shimano	+40
38	土井 雪広	JPN Shimano	+2:15
51	品川 真寛	JPN Shimano	"
60	福島 晋一	JPN National	"
61	橋本 健	JPN Zurich	"
62	狩野 智也	JPN Shimano	"
63	山本 雅道	JPN Shimano	"
71	宮澤 崇史	JPN National	"
105	石田 哲也	JPN National	+3:00
116	佐野 友哉	JPN National	+4:56

第3ステージ (220km)

1	WINN Juilian	GBR CYM	5:12:38
2	WERNICKLE Renzo	GER Saxony	"
3	BRAMMEIER Matthe	GBR CYM	"
21	品川 真寛	JPN Shimano	"
41	橋本 健	JPN Zurich	"
65	福島 康司	JPN National	"
74	土井 雪広	JPN Shimano	"
80	野寺 秀徳	JPN Shimano	"
90	福島 晋一	JPN National	"
94	狩野 智也	JPN Shimano	"
109	山本 雅道	JPN Shimano	+33

115	石田 哲也	JPN National	+1:50
119	宮澤 崇史	JPN National	"
	佐野 友哉	JPN National	DNF

第4ステージ (124.3km)

1	宮澤 崇史	JPN National	2:59:46
2	IVERSEN Dean	DEN Farso	"
3	GLASNER Björn	GER Farso	+19
11	品川 真寛	JPN Shimano	+23
33	野寺 秀徳	JPN Shimano	"
40	狩野 智也	JPN Shimano	"
50	福島 康司	JPN National	+1:11
68	福島 晋一	JPN National	+1:17
81	土井 雪広	JPN Shimano	+1:55
86	山本 雅道	JPN Shimano	+2:15
87	石田 哲也	JPN National	"
101	橋本 健	JPN Zurich	+7:09

第5ステージ (197.3km)

1	ULZII-ORSHIKH Jamsran	MGL Marco Polo	4:27:17
2	宮澤 崇史	JPN National	"
3	LLOYD Daniel	GBR Giant Asia	"
4	福島 晋一	JPN National	"
16	品川 真寛	JPN Shimano	+9
35	福島 康司	JPN National	"
38	山本 雅道	JPN Shimano	"
51	石田 哲也	JPN National	"
63	橋本 健	JPN Zurich	"
67	野寺 秀徳	JPN Shimano	"
75	狩野 智也	JPN Shimano	"
90	土井 雪広	JPN Shimano	"

第6ステージ (154.5km)

1	WU Kin San	HKG National	3:20:56
2	福島 晋一	JPN National	"



3	GLASNER Björn	GER Farso	"
23	狩野 智也	JPN Shimano	+7
33	福島 康司	JPN National	+4:37
39	野寺 秀徳	JPN Shimano	"
43	石田 哲也	JPN National	+4:59
52	品川 真寛	JPN Shimano	+7:43
71	土井 雪広	JPN Shimano	+10:06
72	山本 雅道	JPN Shimano	"
97	橋本 健	JPN Zurich	+13:13
98	宮澤 崇史	JPN National	"

第7ステージ (120.4km)

1	LLOYD Daniel	GBR Giant	2:49:03
2	LAI Kuan Hua	TPE C.Taipei	+6
3	福島 晋一	JPN National	+49
16	品川 真寛	JPN Shimano	+2:00
29	狩野 智也	JPN Shimano	+2:26
30	宮澤 崇史	JPN National	+2:37
50	山本 雅道	JPN Shimano	+3:58
90	石田 哲也	JPN National	+11:33
94	土井 雪広	JPN Shimano	+11:50
106	橋本 健	JPN Zurich	+13:21
108	福島 康司	JPN National	+14:12
110	野寺 秀徳	JPN Shimano	DNF

個人総合成績

1	RABOU Thomas	NED M.Polo	23:40:49
2	福島 晋一	JPN National	+1:41
3	BERLING Michael	DEN Glud	+1:53
16	狩野 智也	JPN Shimano	+6:42
35	品川 真寛	JPN Shimano	+13:52
47	福島 康司	JPN National	+17:45
51	宮澤 崇史	JPN National	+18:16
60	山本 雅道	JPN Shimano	+20:36
75	石田 哲也	JPN National	+26:36
80	土井 雪広	JPN Shimano	+27:37
95	橋本 健	JPN Zurich	+34:08

団体総合成績

1	Marco Polo	71:05:07
2	Team Farso	+6:37
3	Hong Kong National	+9:47
7	Japan National	+25:04
8	Skil-Shimano	+25:42



時代は、Titan
5077 OCTANE ROAD
Coming Soon!

株式会社パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区国2-4-2 電話 03-3633-7556 <http://www.pearlizumi.co.jp> オンラインショップ <http://shop.goo.ne.jp/store/ip-pearl>

2006年JCFジュニア強化育成事業について

1 目 標

この計画は、世界規模の大会で継続的にメダル獲得を目指すため、日本におけるジュニア競技者を計画的かつ有機的に強化・育成を図り、わが国の自転車競技の発展・振興に寄与することを目標とする。

- (1) 世界レベルを目標とした選手ならびに指導者における意識の高揚とその定着を図る。
- (2) 選手と所属指導者に対して各種トレーニング方法の実践と関連知識の研修を行う。
- (3) 強化指定選手を積極的に海外のレースへ派遣し、遠征を通して経験と技能を高める。

2 基本方針

- (1) 選抜された優秀選手を指導していく中で、選手並びに所属指導者との連携・連絡を密にし、選手個々の能力に応じた効果的かつ適切な指導態勢を強化する。
- (2) 選手の更なる競技力向上を期するため、情報の提供と競争原理(強化指定選手の入替え制度)の導入を行う。

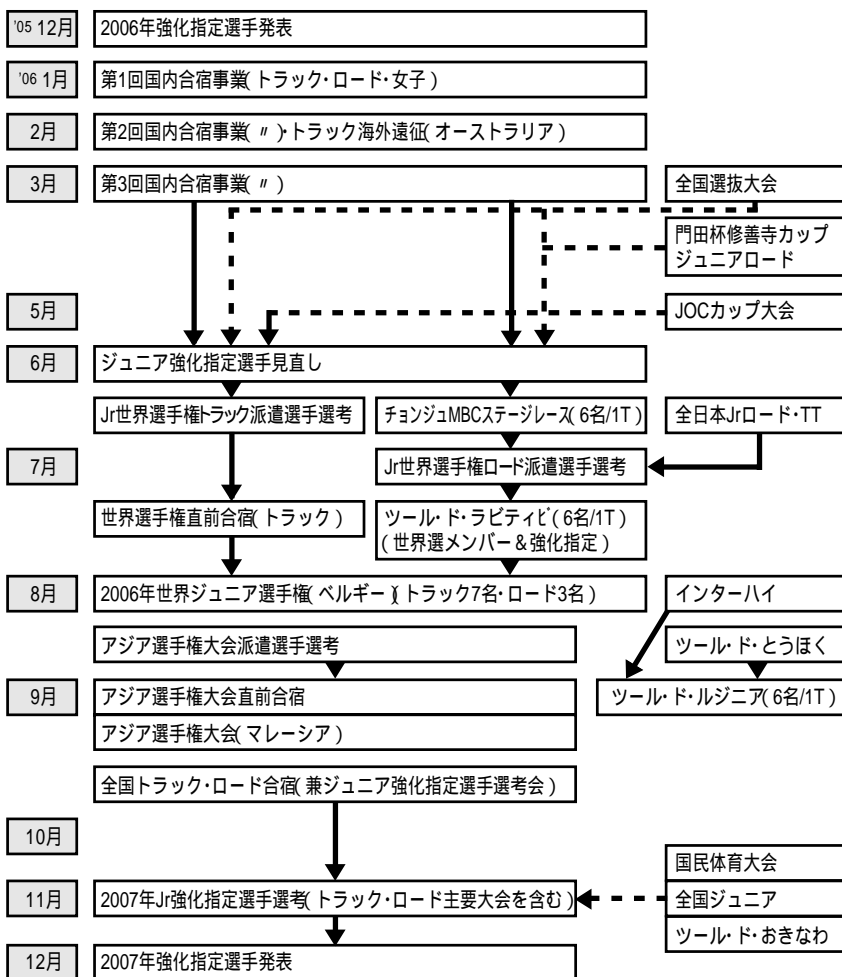
3 施 策

- (1) 強化指定選手発掘事業(全国トラック・ロード合宿選考会) (2) 国内合宿選手強化事業(前期実施1~3月)
- (3) ロード競技者海外派遣事業 (4) トラック競技者海外派遣事業

4 指定選手数

- (1) 男子トラック短距離 10名 (2) 男子中・長距離(トラック長距離・ロードを含む)10名 (3) 女子5名

2006年JCFジュニア選手強化・育成事業計画概要



2006年JCFジュニア強化指定選手

(1) 男子トラック短距離 9名

- 真船圭一朗(福島・白河実業高校)
- 飯塚 隼人(佐賀・龍谷高校)
- 関根 彰人(福島・学法石川高校)
- 三木 翔太(群馬・前橋工業高校)
- 大島 将人(福島・白河実業高校)
- 松川 高大(熊本・九州学院高校)
- 脇本 雄太(福井・科学技術高校)
- 坂本 貴史(青森・八戸工業高校)
- 阿部 力也(宮城・東北高校)

(2) 男子中・長距離(ロードを含む)10名

- 須永 優太(福島・白河実業高校)
- 不破 将登(岐阜・岐南工業高校)
- 巴 直也(神奈川・法政第二高校)
- 佐藤 康彦(大分・日出暁谷高校)
- 竹ノ内 悠(京都・立命館宇治高校)
- 大久保光次(宮城・東北高校)
- 伊藤 雅和(神奈川・法政第二高校)
- 鶴川 大輝(香川・高松工芸高校)
- 伊丹 健治(群馬・前橋育英高校)
- 石倉 龍二(和歌山・和歌山北高校)

(3) 女子 4名

- 川又 千裕(鹿児島・南大隅高校)
- 上野 左智(大分・別府商業高校)
- 福島 麻実(熊本・千原台高校)
- 針谷千紗子(栃木・作新学院)

指定期間:2006年1月1日から2006年12月31日まで
ただし、中央大会(選考大会を含む)において成績を加味したレース内容により指定選手の入替えをおこなう。

ジュニア・オーストラリア合宿

- 派遣日程 2006年1月30日~2月12日
- 派遣場所 オーストラリア・メルボルン/アデレード
- 参加大会 メルボルン・トラック・クラブレース(2日間)/オーストラリア選手権トラックレース(6日間)
- 派遣選手団 監督 百々 敦史 コーチ 重 克彦(共にジュニア強化育成部会・支援スタッフ)
- 選手 真船圭一朗・飯塚 隼人・関根 彰人・三木 翔太・大島 将人・松川 高大・坂本 貴史・須永 優太・不破 将登

2006年度 JCF レースカレンダー (案)

(2006.2.21現在)
日程は変更の可能性があります。

期 日	大会・事業名	種 目	場 所
06 4月02日	第31回チャレンジ・サイクルロードレース	RR	静 岡・日本CSC
4月12日 ~ 16日	2006年トラック世界選手権大会	TR	フランス・ボルドー
4月23日	第7回チャレンジ・ザ・オリンピック	TR	静 岡・日本CSC 250m
4月29日	第8回全日本学生選手権クリテリウム大会	RR	滋 賀・立命館大学びわこキャンパス
4月29日	第40回全日本実業団東日本ロードレース大会	RR	群 馬・群馬CSC
5月07日	第25回西日本学生選手権自転車競技大会	TR	西日本地区
5月13日 ~ 14日	第46回東日本学生選手権自転車競技大会	TR	東 京・京王閣
5月14日 ~ 21日	第10回ツアー・オブ・ジャパン	RR	堺・奈良・飯田・富士・伊豆・東京
5月15日	第53回全日本プロフェッショナル選手権大会トラックレース	TR	愛 媛・松 山
5月20日	第8回修善寺カップ女子オープントラック・ロードレース大会	TR・RR	静 岡・日本CSC
5月21日	第8回門田杯U-23ロードレース大会	RR	静 岡・日本CSC
5月21日	第3回修善寺カップ男子ジュニア・ロードレース大会	RR	静 岡・日本CSC
5月21日	第6回全日本実業団トラック記録会	TR	静 岡・日本CSC
5月26日 ~ 28日	第8回3DAY CYCLE ROAD 熊野	RR	紀南地区
5月27日 ~ 28日	第75回全日本アマチュア自転車競技選手権トラックレース	TR	宮 崎・宮 崎
5月27日 ~ 28日	2006年JOCジュニア・オリンピックカップ自転車競技大会	TR	宮 崎・宮 崎
6月03日 ~ 04日	第22回全日本学生選手権個人ロードレース大会	RR	長 野・奥木曾湖
6月11日	2006年全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース	RR	秋 田・大湯村ソーラースポーツライン
6月11日	第10回全日本実業団個人タイムトライアル・ロード選手権	RR	長 野・桐池高原
6月18日	第40回全日本実業団西日本ロードレース大会	RR	広 島・県立中央森林公園
6月24日 ~ 25日	第9回全日本自転車競技選手権大会ロードレース	RR	広 島・県立中央森林公園
6月24日	第11回ジュニア全日本選手権ロードレース	RR	広 島・県立中央森林公園
6月25日	第75回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロードレース	RR	広 島・県立中央森林公園
7月01日 ~ 02日	第37回全日本実業団西日本自転車競技大会	TR	大 阪・関西CSC
7月08日	第45回全日本学生選手権チームロードレース大会	RR	秋 田・大湯村ソーラースポーツライン
7月09日	第18回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技	RR	秋 田・大湯村ソーラースポーツライン
7月14日 ~ 15日	第37回全日本実業団東日本自転車競技大会	TR	福 島・泉 崎
7月15日 ~ 16日	第9回全日本自転車競技選手権大会トラックレース	TR	鳥 取・倉 吉
7月16日	第5回全日本実業団サイクルロードレース in 石川	RR	福 島・石 川
7月28日 ~ 30日	2006年BMX世界選手権大会	BMX	ブラジル・サンパウロ
8月03日 ~ 06日	第57回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会	TR・RR	大 阪・岸和田・舞洲
8月05日 ~ 13日	2006年ジュニア世界選手権大会	TR・RR	ベルギー・ゲント、スバフランコルシャン
8月06日	2006年全日本実業団サイクルロードレース in 丸岡	RR	福 井・丸 岡
8月10日 ~ 13日	第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほく	RR	秋田・岩手・宮城
8月20日	第3回全日本実業団サイクルロードレース in 小川	RR	長 野・小 川
8月20日 ~ 22日	第41回全国都道府県対抗自転車競技大会	RR・TR	秋 田・六 郷
8月22日 ~ 27日	2006年MTB世界選手権大会	MTB	ニュージーランド・ロトルア
8月27日	第22回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会	RR	三 重・鈴鹿サーキット
8月31日 ~ 03日	第62回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR・RR	静 岡・日本CSC
9月01日 ~ 02日	第37回全日本実業団自転車競技選手権大会	TR	福 島・泉 崎
9月03日	第40回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会	RR	福 島・石 川
9月08日 ~ 16日	第26回アジア選手権自転車競技大会	TR・RR	マレーシア
9月08日 ~ 16日	第13回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会	TR・RR	マレーシア
9月09日 ~ 10日	第7回アジア室内自転車競技選手権大会	InDoor	ホンコンチャイナ
9月13日 ~ 18日	2006ツール・ド・北海道国際大会	RR	北海道・道北、道央
9月16日 ~ 17日	日本スポーツマスターズ2006自転車競技会	RR	広 島・県立中央森林公園
9月17日	第22回BMX全日本選手権大会	BMX	茨 城・ひたち海浜公園
9月19日 ~ 24日	2006年ロード世界選手権大会 (E・U)	RR	オーストリア・ザルツブルグ
9月22日 ~ 23日	2006年日韓対抗学生自転車競技大会	TR	静 岡・日本CSC
9月23日 ~ 24日	第47回全日本学生選手権自転車競技大会	TR	静 岡・日本CSC
9月23日 ~ 24日	2006全日本実業団クリテリウム in いわき	RR	福 島・いわき21世紀の森公園
9月30日 ~ 10/1日	全日本学生室内自転車競技選手権大会	Indoor	東 京・東京工業大学
10月01日 ~ 05日	第61回国民体育大会自転車競技会	RR・TR	兵 庫・明 石
10月15日	第42回全日本学生自転車競技新人戦東日本大会	TR	東日本地区
10月15日	第42回全日本学生自転車競技新人戦西日本大会	TR	西日本地区
10月15日	第2回全日本実業団サイクルロードレース in 飯田	RR	長 野・飯 田
10月22日	2006年ジャパンカップ・サイクルロードレース	RR	栃 木・宇都宮
11月03日	2006全日本チーム対抗自転車競技大会	TR	静 岡・日本CSC
11月05日	第2回全国ジュニア自転車競技大会	RR	三 重・四日市
11月12日	ツール・ド・おきなわ2006	RR	沖 縄・名護他
11月24日 ~ 26日	2006年世界室内自転車競技選手権大会	Indoor	ドイツ・ケムニッツ
12月01日 ~ 15日	第15回アジア競技大会	TR・RR	カタール・ドーハ
12月03日	第12回全日本シクロクロス選手権大会	CX	北海道・苫小牧
12月16日 ~ 17日	第36回全日本室内自転車競技選手権大会	Indoor	大 阪・コスモスクエア国際交流センター
07 1月27日 ~ 28日	2007年シクロクロス世界選手権大会	CX	ベルギー・ホーフレデ・ヒッツ
3月23日 ~ 25日	平成18年度全国高等学校選抜自転車競技大会	TR・RR	山 梨・境 川

第10回 ツアー・オヴ・サウスチャイナシー



12月24日夕方、JALにて成田空港を出発し、現地時間深夜11時に香港のホテルに到着。翌25日は、ライセンスコントロールとマネージャーミーティングがあり、選手達は自転車組み立て後2時間のトレーニングを行い、翌日からのレースに備えた。

12月26日の朝5時に起床し、8時10分スタートの香港ステージに挑んだ。

スタート地点は、ブルース・リーの銅像があるベイサイドから観光客も多く、朝からたくさんの方が観戦に来た。9kmパレードし7.6kmの周回コースで100kmのレースが行われた。後半にワン・カンポー(香港)ら3人のアタックが決まり、2分差で第2グループがゴール勝負となり、5位飯島 誠(ラバネロ)、8位西谷泰治(愛三工業)、13位別府 匠(愛三工業)、21位盛一夫(愛三工業)、35位秋山英也(日本大学)の順で終了した。チーム総合は、香港1位、日本2位、中国3位である。レース終了後ホテルに戻りランチを食べ、バスに乗り出入国の手続きを済ませ中国本土シンセンに移動した。

12月27日 シンセンステージ
4.4km x 20周 = 88km、11時スタート

このコースは平坦なので、集団でのゴール勝負となった。前半に西谷、別府、飯島、盛らが揺さぶりをかけるものの、集団はばらけなかった。最後は、ワンが1位でこのステージが終わった。チーム総合は、昨日と同じ。

12月28日 フーサンステージ
5km x 20周 = 100km、12時スタート
シンセンの宿舎から3時間かけてスタート地点に到着。バスの運転手が道

を間違え、スタート前にてんやわんやの15分遅れでレースが始まった。小雨まじりのコースは滑る所もあり、選手達は慎重に走り続けた。10周過ぎに雨が上がりコースも乾いたころ、西谷が

1人抜け出しスプリントポイントを取り続けたが、後半に入り集団に追いつかれてしまった。ラスト10kmで、初日の勝者ウー・キンサン(香港)とJUNAID(マレーシア)飯島の3人がアタック、これが決まりゴール勝負でウーが1位、飯島が2位でゴールした。秋山が落車しながらもゴールする事が出来て、明日のレースに出られる。チーム総合は2位をキープしている。

12月29日 ガンズー大学ステージ
4.8km x 22周 = 105.6km、12時スタート
このステージは、広大な敷地の中に9個の大学が集まるニュータウンで行われた。中盤に別府と盛を含む10人のトップグループが形成されラスト1周まで逃げたが、メイン集団につかまりゴール勝負となった。ワンに付けた西谷が3位に入り、初の表彰台にあがった。今日も秋山が落車し、先輩たちに注意を受けた。メカニックの鬼原君が自転車を治し、明日のレースにも出走できるようになった。この日の宿舎は大学寮で、エレベーターの無い17階の部屋に泊まる事になり、階段で足がばんばんになった。

12月30日 ジャンメン
ステージ
3.9km x 25周 + 8.4km = 105.9km、12時スタート

西谷、盛、ワンを含む10人の集団が40秒の差をつけ周回を終え、8.9kmの登りに向かった。ローテーションに加わらないワンが1位で、西谷が2位。ゴールアシストにまわった盛は、登りで力尽きる。

12月31日 チュンシャンステージ
4.7km x 22周 = 103.4km、12時スタート
今回1番の暑さで30度の気温の中レースが始まった。フラットなコースの為集団がばらけずゴール勝負となり、飯島の4位が最高でレースは終わった。チーム総合は2位のままである。この町のイベントに合わせてのレース開催のため、この日は観客もいつも以上に多く賑わっていた。

1月1日 ズーハイステージ
4.2km x 15周 = 63km、11時スタート
宿舎から3時間かけてスタート地点に着き、あわただしくレースが始まった。今日は距離も短く逃げが決まらず、集団でのゴール勝負となった。盛が勇猛果敢に先行したが11位となり、中国本土のレースは終わった。飯島が200m手前で6人の落車に巻き込まれ、順位を落とした。三舩(CMS)も落車しここでリタイヤとなった。レース終了後マカオに向かった。出入国に時間がかかり自転車や荷物の到着が7時過ぎになってしまった。

1月2日 マカオステージ
9km x 10周 + 2.2km、9時30分スタート
マカオタワーをスタートして周回コースに入り、最後2.2kmの登りでゴールとなる。

昨日の落車で飯島の調子も上がらず



周回を重ねたが、今度は自転車トラブルで盛がリタイヤとなり、総合順位がわからなくなったが、西谷、別府が頑張り3.4位となってチーム総合は2位をキープした。個人総合では、4位西谷、6位別府が入賞し、飯島が9位、秋山が35位と健闘した。盛はDNFのため総合順位はつかなかった。最後の登りでワンを振り切って1位になったウーが個人総合優勝となった。

マカオタワーの中で6時30分から表彰式が始まり、お別れパーティーとなりロードレースが終了した。この大会ではメカの鬼原さんやお手伝いの飯島美和さんのサポートのお陰で、8日間走りぬく事ができました。感謝いたします。このレースに参加したトラック中距離チーム飯島、西谷、盛の3人には、ポイントやスクラッチで今年も飛躍してもらいたいと思う。(監督 福田 公生)



[競技結果]

第10回アジア・オセアニア杯
(2005/12/26-2006/1/2 韓国・平昌)

個人総合成績

1	WU Kin San	HKG	18:00:09
2	WONG Kam Po	HKG	18:00:12
3	XU Gang	CHN	18:02:15
4	西谷 泰治	JPN	18:03:38
6	別府 匠	JPN	18:04:02
9	飯島 誠	JPN	18:04:48
35	秋山 英也	JPN	18:16:42

団体総合

1	Purapham Pocar Sweat Hong Kong	54:05:55
2	Japan National Team	54:12:48
3	China National Team	54:17:59

第1ステージ (100.1km)

1	WU Kin San	HKG	2:49:35
2	WONG Kam Po	HKG	2:49:35
3	XU Gang	CHN	2:49:35
5	飯島 誠	JPN	2:52:00
8	西谷 泰治	JPN	2:52:11
13	別府 匠	JPN	2:52:11
20	三船 雅彦 (CMS)	JPN	2:56:07
21	盛 一大	JPN	2:56:07
35	秋山 英也	JPN	3:01:09

第2ステージ (88km)

1	WONG Kam Po	HKG	1:57:15
2	PAPP Joseph	USA	1:57:15
3	WONG Ngai Ching	HKG	1:57:15
5	三船 雅彦 (CMS)	JPN	1:57:15

6	飯島 誠	JPN	1:57:15
20	西谷 泰治	JPN	1:57:15
22	盛 一大	JPN	1:57:15
24	秋山 英也	JPN	1:57:15
55	別府 匠	JPN	1:57:15

第3ステージ (100km)

1	WU Kin San	HKG	2:25:03
2	飯島 誠	JPN	2:25:06
3	JUNALDI Abd Nasir	MAS	2:25:06
9	三船 雅彦 (CMS)	JPN	2:25:39
23	秋山 英也	JPN	2:25:39
26	西谷 泰治	JPN	2:25:39
28	盛 一大	JPN	2:25:39
55	別府 匠	JPN	2:25:39

第4ステージ (105.6km)

1	WONG Kam Po	HKG	2:07:01
2	MOHD SAYUTI Mahd Zahit	MAS	2:07:01
3	西谷 泰治	JPN	2:07:01
4	三船 雅彦 (CMS)	JPN	2:07:01
6	飯島 誠	JPN	2:07:01
16	秋山 英也	JPN	2:07:01
62	別府 匠	JPN	2:07:01
66	盛 一大	JPN	2:07:01

第5ステージ (105.1km)

1	WONG Kam Po	HKG	2:24:31
2	西谷 泰治	JPN	2:24:33
3	JONES Nathan	FRA	2:24:36
6	別府 匠	JPN	2:24:42
11	飯島 誠	JPN	2:25:02
13	盛 一大	JPN	2:25:09
16	三船 雅彦 (CMS)	JPN	2:25:29
57	秋山 英也	JPN	2:26:39

第6ステージ (104.4km)

1	WONG Kam Po	HKG	2:29:38
2	PAPP Joseph	USA	2:29:38
3	MOHD FAUZAN Ahmad Lutfi	MAS	2:29:38
4	飯島 誠	JPN	2:29:38
10	三船 雅彦 (CMS)	JPN	2:29:38
14	盛 一大	JPN	2:29:38
32	秋山 英也	JPN	2:29:38
43	西谷 泰治	JPN	2:29:38
60	別府 匠	JPN	2:29:38

第7ステージ (63km)

1	WONG Kam Po	HKG	1:28:02
2	PAPP Joseph	USA	1:28:02
3	CHEN Jun	CHN	1:28:02
11	盛 一大	JPN	1:28:02
36	秋山 英也	JPN	1:28:02
50	別府 匠	JPN	1:28:02
61	西谷 泰治	JPN	1:28:02
64	飯島 誠	JPN	1:28:02
65	三船 雅彦 (CMS)	JPN	1:28:02

第8ステージ (92.2km)

1	WU Kin San	HKG	2:19:21
2	WONG Kam Po	HKG	2:19:33
3	西谷 泰治	JPN	2:19:33
4	別府 匠	JPN	2:19:33
33	飯島 誠	JPN	2:20:50
45	秋山 英也	JPN	2:21:18
盛 一大	JPN	DNF	
三船 雅彦 (CMS)	JPN	DNS	

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

<平成17年度地域大会>

第36回北海道地域トラック自転車競技大会
(2005/7/19 北海道・函館競輪場)

成年1kmタイムトライアル

1	園田 鉄平	北海学園北見大	1:12.86
2	久間 泰	北見施設公社	1:13.61
3	小島 卓	札幌学院大学	1:14.37

成年スプリント

1	園田 鉄平	北海学園北見大
2	久間 泰	北見施設公社
3	小島 卓	札幌学院大学

成年ケイリン

1	馬場 武蔵	フィットクラブ 北見
2	松田 究	早稲田大学
3	小島 徹	塚田販売店

成年4km速度競走

1	林 裕也	札幌車連
2	三嶋 忠義	北海学園北見大
3	鷺沢 峰明	ワザワ商事

成年ホクトレース

1	三嶋 忠義	北海学園北見大	33p
2	川勝 康弘	函館開発建設部	20p
3	松田 究	早稲田大学	13p

少年1kmタイムトライアル

1	大沢 哉太	函大谷高	1:14.92
2	小原 伸哉	帯広工高	1:16.95
3	大浜 篤史	函大谷高	1:17.21

少年スプリント

1	小原 伸哉	帯広工高
2	大浜 篤史	函大谷高
3	岸 直樹	道尚志高

少年ケイリン

1	熊沢 和也	道尚志高
2	大沢 哉太	函大谷高
3	鈴木 祐太	旭川実業高

少年ホクトレース

1	熊沢 和也	道尚志高	36p
2	鈴木 祐太	旭川実業高	24p
3	岸 直樹	道尚志高	17p

第40回全国地域別自転車道路競走大会
第37回北海道地域大会

(2005/7/31 北海道・豊富町)

成年個人ロード (160km)

1	馬場 武蔵	道東地区	4:22:12
2	佐藤 力	東北北海道	4:26:20
3	日蔭 直樹	札幌車連	4:26:21
4	小玉 齊明	札幌車連	4:26:21
5	藤原 真	札幌車連	4:26:22
6	山川惇太郎	札幌車連	4:26:23



チーム成績

1	札幌車連・小樽AC	小玉・藤原・佐藤	4:26:22
2	道東地区車連	馬場・淵上	4:26:24
3	札幌車連・北大A	山川・青木・柳原	4:28:44
4	札幌車連サド	日蔭・今野・前田	4:34:30
5	道南車連サド	木下・川勝・ブライフ	4:44:55

第32回東北総合体育大会自転車競技

第57回東北自転車競技選手権大会

(2005/9/2-3 秋田・六郷自転車競技場)

成年1kmタイムトライアル

1	佐藤 博紀	岩手	1:07.88
2	佐藤 幸治	秋田	1:08.61
3	和田 圭	宮城	1:09.02
4	真船 拓磨	福島	1:10.18
5	高橋 潤	岩手	1:10.67
6	小豆畑郁也	福島	1:10.91

成年タイムリット

1	和田 圭	宮城
2	佐藤 博紀	岩手
3	古川 喬	福島
4	三浦 雄大	宮城
5	川上 和正	福島
6	佐藤 康恭	福島

成年4km個人追抜競走

1	根本 哲吏	秋田	4:56.46
2	小豆畑郁也	福島	4:57.82
3	成田 将平	青森	5:05.75
4	漆澤 均	岩手	5:06.21
5	明珍多久雄	福島	5:06.36
6	伊藤 博人	秋田	5:12.52

成年4km速度競走

1	佐藤 佑一	岩手	4:53.27
2	中村 由広	福島	4:54.69
3	夏堀 宏司	青森	4:55.94
4	星 幸太郎	宮城	
5	糸賀 賢司	福島	
6	湯坐 純	福島	

成年ケリッ

1	高橋 公大	秋田
2	佐藤 康恭	福島
3	仲村 天晴	秋田
4	関田 龍	岩手
5	佐々木 亮	宮城
6	佐藤 幸治	秋田

成年ホィトルス(30km)

1	守澤 太志	秋田	30p
2	漆澤 均	岩手	24p
3	長江 寿也	青森	17p
4	大庭 伸也	宮城	14p
5	糸賀 賢司	福島	9p
6	遠藤 邦明	宮城	7p

成年チームタイムリット

1	秋田	高橋公・植村・佐藤幸	1:06.69
2	宮城	高橋隆・三浦・和田	1:07.60
3	福島	古川・佐藤康・川上	1:06.80
4	岩手	金野・吉野・関田	1:07.64
5	青森	小村・夏堀・三浦	1:08.95
6	山形	菅原・石田・渋谷	1:14.16

成年4km団体追抜競走

1	秋田	根本・仲村・守澤・井上	4:37.69
2	青森	小野寺・長江・佐々木・成田	4:42.19

3	福島	明珍・小豆畑・糸賀・湯坐	4:40.26
4	岩手	漆澤・高橋潤・佐藤博・佐藤佑	4:42.52
5	宮城	遠藤・星・大庭・佐々木	4:43.73
6	山形	大森・笹原・石田・本間	4:58.87

少年1kmタイムトライアル

1	坂本 貴史	青森	1:08.21
2	阿部 力也	宮城	1:08.62
3	山崎 将幸	秋田	1:08.69
4	日当 泰之	青森	1:09.11
5	桜井 正孝	宮城	1:09.70
6	真船圭一郎	福島	1:10.31

少年タイムリット

1	佐々木吉徳	秋田
2	真船圭一郎	福島
3	阿部 力也	宮城
4	澤口 大和	宮城
5	山崎 将幸	秋田
6	日当 泰之	青森

少年3km個人追抜競走

1	桜井 正孝	宮城	3:41.42
2	小野寺悠太	福島	3:41.66
3	石田 正樹	青森	3:42.65
4	奥崎 心吾	青森	3:43.30
5	土屋 貴裕	山形	3:45.57
6	田崎 裕也	福島	3:46.58

少年4km速度競走

1	坂本 貴史	青森	4:50.42
2	菅原 直人	岩手	4:50.53
3	田口 守秋	秋田	4:52.35
4	須永 優太	福島	
5	渡邊 正光	福島	
6	増子 雄士	福島	

少年エリツイン

1	兼平 純	岩手
2	須永 優太	福島
3	荒井 透	山形
4	佐伯 翔	福島
5	板橋 良	宮城
6	中村 敬	青森

少年ホィトルス(24km)

1	石田 正樹	青森	29p
2	兼平 純	岩手	20p
3	佐伯 翔	福島	13p
4	桜井 大地	秋田	13p
5	鈴木 信啓	福島	11p
6	中田 弘明	岩手	9p

少年チームタイムリット

1	福島	関根・増子・須永	1:06.26
2	青森	宗前・千澤・小坂	1:09.76
3	岩手	齊藤・外館・畑中	1:10.38
4	秋田	岡部・桜井・藤谷	1:12.46
5	山形	田中真・加納・田中光	1:13.05

少年4km団体追抜競走

1	青森	日当・坂本・奥崎・石田	4:38.03
2	福島	小野寺・佐伯・田崎・渡邊	4:39.79
3	岩手	兼平・菅原・菊池・中田	4:43.54
4	宮城	阿部・桜井・大久保・板橋	4:43.98
5	秋田	佐々木・田口・山崎・石川	4:49.07
6	山形	土屋・地主・荒井・菅	4:53.65

女子500mタイムトライアル

1	花山 千宏	宮城	40.89
2	早坂ありさ	宮城	41.37

3	高倉 実希	岩手	41.94
4	佐藤 美聡	秋田	43.00
5	江刈 幸	岩手	44.00
6	佐藤 智子	福島	44.15

女子タイムリット

1	花山 千宏	宮城
2	早坂ありさ	宮城
3	本田真奈美	福島
4	平館 美輝	岩手
5	江刈 幸	岩手
6	樋口芳志江	福島

女子3km個人追抜競走

1	平館 美輝	岩手	4:21.70
2	高倉 実希	岩手	4:22.37
3	佐藤 智子	福島	4:34.42
4	三嶋 花子	山形	4:35.08
5	樋口芳志江	福島	4:42.22
6	上原子早紀	青森	4:48.58

第32回東北地域自転車道路競技大会

(2005/9/4 秋田・美郷町)

成年個人タイムリット(98.1km)

1	佐々木正美	青森	2:31:39.42
2	大庭 伸也	宮城	2:31:46.71
3	吉田 守	青森	2:32:00.72
4	舟木 誠	福島	2:32:21.15
5	佐々木 亮	宮城	2:32:41.84
6	湯坐 純	福島	2:33:33.56
7	伊藤 博人	秋田	2:33:35.01
8	漆澤 均	岩手	2:33:37.01
9	小野寺政人	青森	2:33:48.63
10	糸賀 賢司	福島	2:33:52.81

少年個人タイムリット(76.3km)

1	中田 弘明	岩手	1:59:36.46
2	兼平 純	岩手	1:59:41.65
3	土屋 貴裕	山形	1:59:44.94
4	菅原 直人	岩手	1:59:58.09
5	大久保光次	宮城	2:00:02.39
6	奥崎 心吾	青森	2:00:05.91
7	田崎 裕也	福島	2:03:54.60
8	桜井 正孝	宮城	2:06:09.09
9	菊池 信治	岩手	2:06:09.90
10	宗前 将太	青森	2:06:10.38

女子個人タイムリット(43.6km)

1	佐藤 智子	福島	1:22:30.44
2	高倉 実希	岩手	1:22:30.68
3	早坂ありさ	宮城	1:25:11.81
4	花山 千宏	宮城	1:27:11.84
5	平館 美輝	岩手	1:28:18.46
6	三嶋 花子	山形	1:29:26.36
7	樋口芳志江	福島	1:31:16.59
8	本田真奈美	福島	1:32:05.77
9	江刈 幸	岩手	1:35:44.91

総合成績

成年順位

1	福島 104p	2	秋田 97p	3	宮城 83p
---	---------	---	--------	---	--------

少年順位

1	福島 102p	2	青森 98p	3	岩手 82p
---	---------	---	--------	---	--------

女子順位

1	岩手 45p	2	宮城 41p	3	福島 35p
---	--------	---	--------	---	--------

総合順位

1	福島 241p	2	岩手 207p	3	宮城 179p
---	---------	---	---------	---	---------

第57回関東自転車競技選手権大会
(2005/7/24-25 新潟・弥彦競輪場)

男子1kmタイムトライアル

1	柘原 翔太	神奈川 横浜高校	1:08.953
2	城 幸弘	山梨 日本大学	1:09.419
3	鈴木 庸之	新潟 愛好会	1:09.724
4	相馬 直樹	新潟 燕工業高校	1:09.949
5	三木 翔太	群馬 前橋工業高	1:10.285
6	土屋 壮登	埼玉 川越工業高	1:10.941

男子スプリント

1	鈴木 庸之	新潟 愛好会
2	白鳥 佑	東京 法政大学
3	緒方 剛	埼玉
4	荻原 英文	群馬 前橋工業高校
5	大木 卓也	茨城 スパ-アカリトホ
6	市川 英昭	神奈川 富士建設

男子4km速度競走

1	巴 直也	神奈川 法政二高	4:59.94
2	出井 光一	千葉 材ヤクル	
3	池浦 敏彦	新潟 法政大学	
4	浅田 勝利	東京 昭和第一学園	
5	土屋 壮登	埼玉 川越工業高校	
6	藤原 学	新潟 吉田高校	

男子ケイリン

1	鈴木雄一朗	山梨 日本大学
2	西尾 孝政	埼玉 作州堂表具店
3	河村 雅章	東京 ハ'イム'90
4	岡村 敬之	新潟 柏崎市役所
5	今井 卓	埼玉
6	外園 涼	神奈川 名古屋産業大学

男子ホクトレース

1	穂苅 大地	新潟 吉田高校	86p
2	伊藤 雅和	神奈川 法政二高	60p
3	菅原 勝良	埼玉 ブ'ン'イ'ル成学院	59p
4	福田 真平	神奈川 藤沢総合高	51p
5	熊倉 雄	茨城 取手一高	45p
6	桑原 理	新潟 吉田高校	36p

男子4km団体追抜競走

1	神奈川 柘原・伊藤・福田・小原	4:41.74
2	新潟 藤原・桑原・佐藤・穂苅	4:42.61
3	埼玉 菅原・春木・丸山・土屋	4:49.02
4	群馬 寺内・石坂・三木・伊東	4:52.49
5	栃木 福富・古川・齋藤・仁平	4:55.01
6	千葉 河上・出井・斉藤・湯浅	4:58.89

女子500mタイムトライアル

1	堀 友紀代	神奈川	42.365
2	古川ひとみ	新潟 立教大学	43.350

女子3km個人追抜競走

1	堀 友紀代	神奈川	4:20.83
2	古川ひとみ	新潟 立教大学	4:39.24

第40回関東地域自転車道路競走大会
(2005/11/5 群馬・GCSC)

男子個人ロード (78.0 km)

1	畑中 勇介	東京A	2:02:00.21
2	二條 正則	埼玉	2:02:01.43
3	伊藤 雅和	神奈川B	2:02:08.58
4	細川 倫央	東京	2:02:58.64
5	伊丹 健治	群馬B	2:03:04.69
6	中川康二郎	東京	2:03:25.18
7	村山 規英	東京A	2:03:25.24
8	初山 翔	神奈川B	2:03:32.03

9	島田 真琴	東京A	2:04:43.17
10	相川 将	埼玉A	2:04:51.41

男子団体結果

1	東京A	畑中・村山・島田	5p
2	神奈川B	伊藤・初山・福田	7p
3	栃木A	高橋・中里・牛島	20p
4	群馬B	伊丹・飯塚・渡辺	22p
5	埼玉A	相川・中山・長沼	25p
6	山梨A	堀内・山田・高野	25p

女子個人ロード (36.0 km)

1	細矢由美子	神奈川	1:07:51.33
2	堀 友紀代	神奈川	1:12:55.91

第37回中部8県対抗自転車競技選手権大会
(2005/10/1 愛知・豊橋競輪場)

成年1kmタイムトライアル

1	吉田 将成	岐阜	1:08.25
2	高木 健也	富山	1:09.14
3	山崎 晃	石川	1:09.50
4	水野 悟志	静岡	1:11.16
5	天野 好崇	愛知	1:11.44
6	小峰 烈	長野	1:11.57

成年スプリント

1	湯原 正行	長野
2	高橋 韻旨	岐阜
3	坂本 信也	富山
4	高橋 政登	愛知
5	飯島 悠	静岡

成年4km速度競走

1	青木 康貴	岐阜	5:06.14
2	栗田 雄矢	静岡	
3	西山 知宏	福井	
4	小笠原崇裕	長野	
5	森 俊文	愛知	

成年ケイリン

1	中島 和夫	岐阜
2	東 昌幸	福井
3	斯波 貴介	静岡
4	鳥谷 大洋	三重
5	幅 信康	長野
6	越猪 澄	愛知

成年ホクトレース

1	中島 康晴	福井	49p
2	川西 貴之	岐阜	16p
3	武内 誠	愛知	10p
4	内田 晃弘	静岡	9p
5	岡部 英人	富山	6p
6	秋山 英也	長野	3p

成年団体追抜競走

1	岐阜	吉田・中島・川西・青木	4:29.87
2	静岡	内田・栗田・飯島・斯波	4:48.74
3	福井	西山・東・中島・山本	4:50.32
4	長野	小峰・小笠原・秋山・幅	4:55.19
5	富山	岡部・坂本・高木	5:00.14
6	愛知	高橋・天野・森・武内	5:04.27

少年1kmタイムトライアル

1	脇本 雄太	福井	1:06.46
2	不破 将登	岐阜	1:10.10
3	小川 海斗	三重	1:11.71
4	伊藤 拓人	静岡	1:11.84
5	丸山 直樹	長野	1:12.19
6	深谷 知広	愛知	1:12.48

少年スプリント

1	阿部 倫也	愛知
2	吉川 元気	石川
3	近藤 洋基	岐阜
4	安井 博昭	三重
5	吉田 匡志	福井
6	柿澤 大貴	長野

少年4km速度競走

1	井関 太一	岐阜	4:47.99
2	高間 悠平	福井	
3	伊藤 正樹	長野	
4	橋本 達信	石川	
5	清水 一弘	富山	
6	坂口 晃輔	三重	

少年スラッシュ

1	加藤 昭宏	岐阜	11:09.01
2	寺垣慎太郎	富山	
3	大橋 庸平	三重	
4	宮川 康太	長野	
5	川島 良太	石川	
6	青山 圭太	福井	

少年ホクトレース

1	野村 大	岐阜	43p
2	廣木源一郎	福井	37p
3	秋山 奨	長野	8p
4	大塚 友貴	静岡	-14p
5	倉谷 一哉	愛知	-16p

少年団体追抜競走

1	岐阜	不破・井関・加藤・野村	4:43.51
2	福井	廣木・脇本・吉田・高間	4:48.82
3	長野	丸山・秋山・伊藤・柿澤	4:50.50
4	静岡	大塚・鈴木・伊藤・松澤	4:55.73
5	三重	小川・森下・大橋・坂口	4:57.54
6	愛知	深谷・水谷・浅井・倉谷	5:05.65

第39回中部8県自転車道路競走大会
(2005/10/2 愛知・万場調整池)

チ-ムタイムトライアル

1	岐阜	吉田・川西・青木・井関	54:22
2	長野	小笠原・秋山英・丸山・秋山奨	54:47
3	福井	西山・東・中島・山本	55:27
4	静岡	内田・飯島・鈴木・河合	58:15
5	愛知	武内・水谷・浅井・倉谷	58:59
6	三重	小川・森下・大橋	1:00:46
7	石川	山崎・橋本・宮川・川島	1:01:55

中部地域県別総合成績
県対抗得点

1	岐阜	147p
2	福井	109p
3	長野	99p
4	静岡	91p
5	愛知	71p
6	富山	48p

第37回近畿地域自転車競技選手権大会
(2005/9/11 和歌山・和歌山競輪場)

成年男子1kmタイムトライアル

1	岡 豊洋	和歌山 京都産業大	1:09.990
2	岩本 拓明	兵庫 中京大学	1:12.050
3	柏原 剛	京都 立命館大学	1:12.660
4	乾 庄平	滋賀 瀬田工OB	1:13.300
5	米田 徹	京都 龍谷大学	1:13.900
6	伊藤 信	京都 順天堂大学	1:15.940

成年男子スプリント

1	伊藤 信	京都 順天堂大学
2	田中伊久男	奈良 中吉野広域消防

3 乾 庄平 滋賀 瀬田工OBｸﾞﾗﾌ	
4 谷川 幸司 滋賀 立命館大学	
5 門松 克己 大阪 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	
6 原田 孝雄 大阪 ｼﾞｬﾝﾌﾟ ﾛﾝｼﾞﾝｸﾞ	
成年男子ｸﾞﾘｯﾌﾟ	
1 池本 揚亮 和歌山 中京大学	
2 門松 克己 大阪 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	
3 谷川 幸司 滋賀 立命館大学	
4 辻中 国宏 京都 日本大学	
5 米田 徹 京都 龍谷大学	
6 石浦 一憲 京都 立命館大学	
成年男子4km速度競走	
1 松本 貞行 滋賀 FUKADA	4:56.260
2 前田 修平 和歌山 京都産業大学	
3 岡 豊洋 和歌山 京都産業大学	
4 辻中 国宏 京都 日本大学	
5 松村 光浩 和歌山 日本大学	4:52.700
6 柏原 剛 京都 立命館大学	4:55.710
成年男子30km	
1 松村 光浩 和歌山 日本大学	50p
2 石井 陽 京都 立命館大学	46p
3 吉田 真人 奈良 立命館大学	23p
4 前田 修平 和歌山 京都産業大学	11p
5 牧田 洋和 京都 朝日大学	8p
6 石浦 一憲 京都 立命館大学	7p
成年男子4km団体追抜競走	
1 京都 柏原・辻中・太田・石井	4:41.760
2 奈良 奥田・吉田・渡士・和田	4:44.560
3 和歌山 松村・池本・岡・前田	4:44.680
4 大阪 長・伊勢・若槻・辻	4:52.650
少年男子1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 角 令央奈 兵庫 日生第三高	1:09.310
2 安福 洋徳 奈良 榛原高校	1:09.590
3 伊原 陽平 兵庫 日生第三高	1:10.000
4 菱田 浩二 京都 花園高校	1:10.430
5 藤田 勝也 和歌山 和歌山北高	1:10.500
6 武田 和也 奈良 榛原高校	1:10.770
少年男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ	
1 伊原 陽平 兵庫 日生第三高校	
2 山田 久徳 京都 花園高校	
3 石口 慶多 兵庫 三田学園高校	
4 東森 晃仁 兵庫 神崎高校	
5 北村 直樹 京都 北桑田高校	
6 酒井 亮治 大阪 大阪産大高校	
少年男子4km速度競走	
1 岩崎 庄平 京都 北桑田高校	4:46.850
2 藤田 勝也 和歌山 和歌山北高	4:48.950
3 北 芳彰 兵庫 日生第三高	4:50.370
4 榎本 剛士 和歌山 和歌山北高校	
5 森田 大介 和歌山 和歌山北高校	
6 米田 豊 和歌山 和歌山北高校	
少年男子1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 中野 彰人 和歌山 和歌山北高校	
2 阪口 恭平 和歌山 和歌山北高校	
3 米田 豊 和歌山 和歌山北高校	
4 北山 一樹 大阪 大阪産大高校	
5 西田 順平 和歌山 紀北工業高校	
6 海老瀬将太 京都 北桑田高校	
少年男子24km	
1 森田 大介 和歌山 和歌山北高校	27p
2 石倉 龍二 和歌山 和歌山北高校	17p
3 大西 周太 兵庫 三田学園高校	16p

4 菱田 浩二 京都 花園高校	16p
5 木守 望 和歌山 紀北工業高校	13p
6 角 令央奈 兵庫 日生第三高校	13p
少年男子4km団体追抜競走	
1 兵庫 大西・宮本・北・角	4:37.380
2 奈良 吉田・吉岡・武田・安福	4:38.100
3 和歌山 石倉・中野・藤田・森田	4:38.760
4 京都 山田・菱田・小西・岩崎	4:39.800
5 大阪 尾田・北山・山田・酒井	5:01.000
女子500mﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 森 智恵美 京都 順天堂大学	41.560
2 石井 愛 京都 花園高校	43.370
3 谷村祐美子 大阪 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	44.750
女子2km個人追抜競走	
1 石井 愛 京都 花園高校	2:54.390
2 森 智恵美 京都 順天堂大学	2:58.580
3 谷村祐美子 大阪 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	3:06.360
第40回全国地域別自転車道路競走大会 近畿地域大会(2005/5/22 京都・美山町)	
男子E1-1(74.9km)	
1 松井 久 大阪 ｶｶﾞﾘ	1:46:56.39
2 向川 尚樹 大阪 ｷﾞﾀ	1:46:57.62
3 中田 真琴 奈良 ｷﾞﾀ	1:46:58.31
4 渡邊 哲平 京都	1:46:58.57
5 小嶋 洋介 京都 ｺﾞﾙﾌ ﾏｲﾑ	1:46:58.63
6 近江 忠仁 京都 ｸﾞﾗﾌ ﾏｲﾑ	1:46:59.66
7 三木 哲也 兵庫 ｱﾐﾊﾞ ﾏｲﾑ	1:46:59.95
8 猪岡 章人 奈良 Zippyｸﾞﾗﾌ	1:47:00.90
9 徳岡 秀昭 大阪 Sakatani	1:47:01.30
10 松本 翼 京都 京大	1:47:01.60
男子U23(74.9km)	
1 辻 善光 京都 立命館大	1:46:57.23
2 石浦 一憲 京都 立命館大	1:46:57.25
3 柏原 剛 京都 立命館大	1:46:57.70
4 長 義幸 大阪 同志社大	1:46:57.82
5 伊勢 直人 大阪 朝日大学	1:46:58.37
6 石井 陽 京都 立命館大	1:46:58.94
7 梅原 依路 京都 京都産大	1:46:59.22
8 稲益 拓也 京都 京大	1:46:59.62
9 山下 貴宏 兵庫 まつしま	1:46:59.74
10 秋山 尚徳 大阪 masahiko	1:46:59.76
女子E1-1(42.8km)	
1 酒井 真清 大阪 Testachi	1:09:30.17
2 坂田 佳子 兵庫 POLPO	1:12:06.99
3 池田 桂子 大阪 Testachi	1:12:07.17
4 加藤 紀衣 大阪 Testachi	1:12:15.42
平成17年度中国地域自転車競技選手権大会 (2005/9/11 鳥取・倉吉競技場)	
男子1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 河端 朋之 鳥取 倉吉農高教	1:09.35
2 福井 敬司 鳥取 倉吉総産高	1:09.37
3 岡田 真 鳥根	1:10.69
4 岩本 晋也 鳥取 倉吉西高教	1:12.59
5 曾田 晴夫 鳥根	1:12.85
6 伊藤 剛正 鳥取 倉吉総産高	1:16.86
男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ	
1 田中 享長 鳥取 倉吉総産高	
2 緒方 千治 広島	
3 末本 大克 広島	
4 - - -	
5 高嶋 厚平 鳥取 倉吉総産高	

6 中嶋 翼 鳥取 鳥取湖陵高	
男子ｸﾞﾘｯﾌﾟ	
1 福井 敬司 鳥取 倉吉総産高	
2 吉野 勝男 鳥根	
3 村出真一朗 鳥取 順天堂大	
4 緒方 千治 広島	
5 山崎 泰弘 鳥取 倉吉総産高	
6 政門 将太 鳥取 倉吉西高	
男子30km(16km)	
1 曾田 晴夫 鳥根	16p
2 原 隆成 鳥根	16p
3 寺本 道彦 鳥根	15p
4 伊藤 剛正 鳥取 倉吉総産高	10p
5 松田 隆寛 鳥取 倉吉東高	10p
6 末本 大克 広島	4p
男子団体追抜競走	
1 鳥根 寺本・原・曾田・岡田	4:48.33
2 鳥取B 伊藤・山崎・松田・山本	4:59.37
女子500mﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 河端あゆみ 鳥取 倉吉総産高	40.57
2 豊岡 英子 広島	42.94
3 北村 花恵 鳥取 鳥取湖陵高	44.15
4 下田 晃子 鳥取 鳥取湖陵高	45.26
女子3km個人追抜競走	
1 豊岡 英子 広島	4:23.55
2 河端あゆみ 鳥取 倉吉総産高	4:36.37
3 北村 花恵 鳥取 鳥取湖陵高	4:46.08
4 下田 晃子 鳥取 鳥取湖陵高	5:08.34
第40回中国地域自転車道路競走大会 (2005/6/19 広島・中央森林公園)	
個人ﾀｲﾑ	
1 片山 和正 岡 山A	2:37:52.78
2 石堂 大悟 広島A	2:37:53.33
3 佐々木優也 広島C	2:37:53.49
4 棟久 明博 山口A	2:37:53.89
5 酒居 良和 広島A	2:37:53.98
6 清水 英樹 鳥取A	2:37:54.04
7 末本 大克 広島A	2:37:54.54
8 神野 勝 広島B	2:37:56.30
9 岩藤 司朗 山口A	2:38:08.00
10 田中 孝一 岡山A	2:38:10.18
団体順位	
1 広島A 石堂・末本・酒居	7p
2 岡山A 片山智・片山和・田中	11p
3 山口A 岩藤・棟久・松尾	13p
4 広島C 岩畔・佐々木・上松瀬	16p
5 鳥取A 清水・石田・津村	25p
6 鳥根A 山根・寺本・曾田	26p
第37回四国地域自転車競技選手権大会 (2005/11/19-20 愛媛・松山市競輪場)	
男子1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ	
1 永井 龍一 愛媛 松山工業高	1:09.67
2 栗田 貴徳 愛媛 栗田写真機	1:12.05
3 鶴川 大輝 香川 高松工芸高	1:12.35
4 中山 延行 高知 高知県警察	1:13.22
5 水木 裕聡 高知 マリッｸﾞ ﾏｲﾑ TT	1:13.75
6 山地 大介 香川 農業経営高	1:14.53
男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ	
1 阿部 功 高知 マリッｸﾞ ﾏｲﾑ TT	
2 神野 貴大 高知 高知東工業高校	

- 3 宮崎 康司 香川 石田高校
- 4 坂田 章 高知
- 5 紅谷 晃二 香川 高松工芸高校
- 6 藤岡 裕太 徳島 鳴門工業高校

男子ケイリン

- 1 栗田 貴徳 愛媛 栗田写真機店
- 2 中山 哲之 香川 四国福祉専門学校
- 3 坂田 章 高知
- 4 紅谷 晃二 香川 高松工芸高校
- 5 水木 裕聡 高知 リソコ-ルT
- 6 作田 悦章 徳島

男子4km速度競走

- 1 阿部 功 高知 リソコ-ルT 4:55.57
- 2 鶴川 大輝 香川 高松工芸高校 4:55.62
- 3 山地 大介 香川 農業経営高校 4:56.81
- 4 永井 龍一 愛媛 松山工業高校
- 5 山田 哲治 高知 宇治電化学工業
- 6 矢野 泰弘 香川 矢野製菓

男子エリミネーション

- 1 中山 哲之 香川 四国福祉専門学校
- 2 武藤 大輔 高知 高知中央郵便局
- 3 田端 健太 高知 岡豊高校
- 4 村上 卓穂 香川 ヲウカワ FET
- 5 青山 裕矢 香川 石田高校
- 6 須藤 旭 徳島

男子スクラッチ

- 1 田畑 健太 高知 岡豊高校 12:78
- 2 中西 昭成 香川 高松工芸高校
- 3 山田 哲治 高知 宇治電化学工業
- 4 神野 貴大 高知 高知東工業高校
- 5 植田 一生 香川 石田高校
- 6 二ノ宮康平 愛媛 松山聖陵高校

男子ホクトレース(16km)

- 1 武藤 大輔 高知 高知中央郵便局 23p
- 2 村上 卓穂 香川 ヲウカワ FET 18p
- 3 中西 昭成 香川 高松工芸高校 14p
- 4 植田 一生 香川 石田高校 12p
- 5 矢野 泰弘 香川 矢野製菓 10p
- 6 櫻脇 哲也 徳島 カガワ 5p

男子チームスプリント

- 1 香川 鶴川・紅谷・宮崎 1:20.63
- 2 徳島 藤岡・並木・藤田 1:31.92
- 3 高知 阿部・水木・坂田 (降格)

男子4km団体追抜競走

- 1 香川 村上・矢野・植田・山地 4:45.69
- 2 高知 武藤・山田・中山・田端 4:49.06
- 3 徳島 内田・横内・櫻脇・藤田 5:00.12
- 4 愛媛 二ノ宮・岡宮・宮内・永井 5:10.63

女子500mタイムトライアル

- 1 松尾 智佳 愛媛 済美高校 41.03
- 2 玉井 千晶 香川 高松工芸高校 43.07
- 3 篠原 幸子 香川 笠田高校 47.46
- 4 藤田 佳恵 香川 笠田高校 49.55

女子2km個人追抜競走

- 1 松尾 智佳 愛媛 済美高校 2:59.42
- 2 玉井 千晶 香川 高松工芸高校 3:11.95
- 3 篠原 幸子 香川 笠田高校 3:27.59
- 4 藤田 佳恵 香川 笠田高校 3:39.91

総合成績

- 1 香川 82p 2 高知 77p
- 3 愛媛 26p 4 徳島 16p

第30回四国地域自転車道路競走大会
(2005/10/2 香川・田万ガム)

男子個人ロード

- 1 森 真博 香川 NEXコルダ 2:08:53.14
- 2 門田 基志 愛媛 SPECIALIZED 2:08:54.28
- 3 横内 淳 徳島 四国化成 2:08:58.45
- 4 長野 耕治 愛媛 NEXコルダ 2:08:58.99
- 5 丹蔵 智治 愛媛 カガミツリ 2:10:39.19
- 6 山田 正人 香川 戸田建設 2:13:20.25
- 7 佐川 広行 愛媛 SOLDOUT 2:17:12.31
- 8 上田 芳也 高知 高知CTC 2:17:31.76
- 9 櫻脇 哲也 徳島 カガワAS 2:20:40.00

ジュニア個人ロード

- 1 中西 昭成 香川 高松工芸 2:08:56.46
- 2 植田 一生 香川 石田高校 2:10:29.95
- 3 鈴木龍之介 愛媛 今治北高 2:10:50.89
- 4 紅谷 晃二 香川 高松工芸 2:13:06.77
- 5 竹村 匡史 高知 土佐高校 2:17:27.03
- 6 川崎 智貴 徳島 徳島商高 2:19:16.20

U23個人ロード

- 1 村上 卓穂 香川 ヲウカワ 2:08:58.00

平成17年度九州地域自転車競技大会

平成17年度九州地域自転車トラック競技大会
(2005/9/26-27 宮崎・宮崎総合運動公園)

男子スプリント

- 1 屋良 朝春 沖縄 日本大学
- 2 前田 義和 鹿嶋 鹿屋体育大学
- 3 小原 将通 大分 別府商業高校
- 4 飯塚 隼人 佐賀 龍谷高校
- 5 金島 悠造 福岡 祐誠高校
- 6 松川 高大 熊本 九州学院

男子1kmタイムトライアル

- 1 飯塚 隼人 佐賀 龍谷高校 1:09.374
- 2 酒井 洋太 宮崎 宮崎大学 1:09.495
- 3 金島 悠造 福岡 祐誠高校 1:09.719
- 4 佐藤 康彦 大分 日出陽谷高 1:10.282
- 5 中村 亮太 熊本 千原台 1:10.986
- 6 黒木 裕介 宮崎 宮崎車連 1:11.005

男子4km速度競走

- 1 普久原 奨 沖縄 名桜大学 4:46.83
- 2 山崎 翼 大分 別府商業高校
- 3 乙丸 貴司 福岡 名桜大学
- 4 戸田 信夫 鹿嶋 鹿児島実業
- 5 田口 竜得 福岡 祐誠高校
- 6 上野原洋介 大分 日本大学

男子ホクトレース

- 1 内間 康平 沖縄 北中城高校 17p
- 2 渡邊 大輔 大分 別府商業高校 16p
- 3 田口 竜得 福岡 祐誠高校 15p
- 4 大久保 陣 鹿嶋 鹿児島実業 11p
- 5 岩本 力哉 大分 日本大学 10p
- 6 今野 亮太 鹿嶋 鹿屋体育大学 9p

男子ケイリン

- 1 屋良 朝春 沖縄 日本大学
- 2 前田 義和 鹿嶋 鹿屋体育大学
- 3 後藤 國仁 大分 大分市消防局
- 4 古瀬 竜一 佐賀 佐賀自連
- 5 松川 高大 熊本 九州学院
- 6 福富 恭平 福岡 豊国学園

男子エリミネーション

- 1 内間 康平 沖縄 北中城高校

- 2 柳詰 正宏 福岡 豊国学園
- 3 越海 誠一 大分 別府商業高校
- 4 渋谷 壮之 熊本 秀岳館高校
- 5 戸田 信夫 鹿嶋 鹿児島実業
- 6 花岡 吉久 鹿嶋 鹿児島実業

男子4km団体追抜競走

- 1 宮崎A 黒木・下沖・酒井・市村 4:41.55
- 2 大分B 清水・山崎・佐藤・越海 4:44.08
- 3 熊本A 竹下・渋谷・松川 4:45.00
- 4 福岡A 植原・柳詰・金島・田口 4:46.06
- 5 大分A 上野原・岩本・白川・赤尾 4:50.26
- 6 鹿嶋A 戸田・中山・大久保・中山 4:54.12

女子スプリント

- 1 川又 千裕 鹿嶋 南大隅高校
- 2 上野 左智 大分 別府商業高校
- 3 明珍 裕子 鹿嶋 鹿児島実業

女子500mタイムトライアル

- 1 川又 千裕 鹿嶋 南大隅高校 39.48
- 2 上野 左智 大分 別府商業高校 41.88
- 3 橋本 夏姫 熊本 尚綱高校 43.12

女子3km個人追抜競走

- 1 川又 千裕 鹿嶋 南大隅高校 2:50.36
- 2 上野 左智 大分 別府商業高 2:55.89
- 3 明珍 裕子 鹿嶋 鹿児島実業 2:58.23

第38回九州地域自転車道路競走大会

(2005/9/28 大分・オホノリ)

男子個人ロードレース(93.48km)

- 1 越海 誠一 大分 別府商業高 2:20:57
- 2 内間 康平 沖縄 北中城高校 2:21:05
- 3 上野原洋介 大分 日本大学 2:21:06
- 4 渡邊 大輔 大分 別府商業高 2:21:53
- 5 羽田 一平 鹿嶋 鹿児島実業 2:22:00
- 6 清水 真 大分 日出陽谷高 2:22:08
- 7 渋谷 壮之 熊本 秀岳館高校 2:22:18
- 8 岩本 力哉 大分 日本大学 2:22:27

女子個人ロードレース(23.57km)

- 1 川又 千裕 鹿嶋 南大隅高校 47:47
- 2 明珍 裕子 鹿嶋 鹿児島実業 47:51
- 3 上野 左智 大分 別府商業高校 49:32



ケイリン 6日間レース

(2006/1/5-10 和歌山・ケイリンスタジアム)

KEIRIN CUP総合順位

- 1 Teun Mulder 14p
- 2 Theo Bos 17p
- 3 Rene Wolf 19p
- 5 北津留 翼 JPN 24p

SPRINT CUP総合順位

- 1 Theo Bos 14p
- 2 Tim Veldt 18p
- 3 Rene Wolf 18p
- 6 北津留 翼 JPN 33p



インフォメーション コーナー

読売新聞社主催「第55回日本スポーツ賞」

1月23日東京・ホテルオークラにて2005年第55回日本スポーツ賞表彰式が行われ、金子貴志(JPCA・愛知)選手が競技団体別優秀賞を受賞しました。

日本自転車振興会主催「平成17年優秀選手表彰」

2月2日東京・赤坂プリンスホテルにて競輪選手の平成17年優秀選手表彰式典が行われ、ワールドカップ等国際大会で活躍した金子貴志(JPCA・愛知)・及川裕奨(JPCA・岩手)・成田和也(JPCA・福島)・渡邊一成(JPCA・福島)の4名の選手が「国際賞」を受賞しました。

第7回チャレンジ・ザ・オリンピック

トラックナショナルチーム・強化指定選手の再編成のため、「第7回チャレンジ・ザ・オリンピック」が4月23日(日)静岡県・日本サイクルスポーツセンター250m走路にて開催されます。詳しくは<http://www.jcf.or.jp>で。

小・中学生<絵画・作文>コンクール作品募集

自転車月刊推進協議会では毎年5月を自転車月間としていろいろな行事を実施しています。その一環として、文部科学省ほかの後援で、もっと楽しく、もっと安全に自転車に親しんでもらうため、全国の小中学生を対象とした「絵画・作文コンクール」を実施します。詳しくは<http://bikeecology.bpaj.or.jp>で。

日本学生自転車競技連盟から
審判講習会開催のお知らせ

来る3月18日(土)、19日(日)に東京都港区・日本自転車会館において学連主催の第2級と第3級公認審判員講習会(トラック・ロード)が開催されます。原則として、学連に審判登録される方が対象となりますが、席に余裕のある限り他の加盟団体所属の方も参加が可能です。また、併せて審判研修会も開催されます。詳しくは、<http://www.jcf.or.jp/jp2/06/gakuren06.pdf>

ツール・ド・台湾日本代表選手団

大会名 ツール・ド・台湾 2006(UCI 2-2)

大会日程 2006年3月5日～11日

派遣日程 2006年3月3日～12日

開催場所 チャイニーズ・タイペイ

派遣選手団

監督 藤野 智一(JCFロード競技部会部会員)

メカニック 中島 康仁(JCFロード競技部会支援スタッフ)

選手 飯島 誠(JPCA・ブリヂストンアンカー)

田代 恭崇(JPCA・ブリヂストンアンカー)

真鍋 和幸(香川・Team NIPPO)

岡崎 和也(JPCA・Team NIPPO)

別府 匠(JPCA・愛三工業レーシング)

訃報

本連盟理事 中原曙観氏(61歳)におかれましては、1月8日ご逝去されました。ここに慎んでお知らせいたします。

連盟の動き(1月～2月中旬)

1月 6日	ロッテルダム6日間レース選手出発	於：オランダ・ロッテルダム(帰国 12日)
	第5回ロード競技部会	於：東京・自転車会館
7日	第1級公認審判員講習会・第2回競技運営委員会	於：千葉・海外職業訓練協会(～9日)・(～8日)
10日	中距離特別合宿	於：静岡・日本CSC(～15日)
16日	トラック・ワールドカップ第3戦日本代表選手団出発	於：アメリカ・ロサンゼルス(帰国 24日)
25日	シクロクロス世界選手権日本代表選手団出発	於：オランダ・ゼッダム(帰国 31日)
31日	第8回常務理事会・選手強化本部会	於：東京・自転車会館
	ツール・ド・ランカウィ日本代表選手団出発	於：マレーシア・ランカウィ(帰国 2/14日)
2月 6日	第3回総務委員会	於：東京・自転車会館
8日	ACC理事会・9日 ACC総会	於：大韓民国・ソウル



シクリスムエコー No.126 2006年2月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー



森永製菓株式会社健康事業部



株式会社サテライトジャパン